

# 要保護児童対策地域協議会の設置運営状況調査結果の概要

要保護児童対策地域協議会の設置について、法定化された平成17年度では111か所(4.6%)であったものが、平成20年度には、努力義務化されたこともあり1,532か所(84.6%)まで増加し、平成28年度には1,727か所(99.2%)の設置となっている。

要保護児童対策調整機関に配置される職員については、専門資格を有する職員の数が平成28年度で5,066名となっており、所有する専門資格は、「⑤保健師・助産師・看護師」が1,203名と最も多く、次いで「①児童福祉司と同様の資格を有する者」が885名、「⑥教員免許を有する者」が821名となっている。

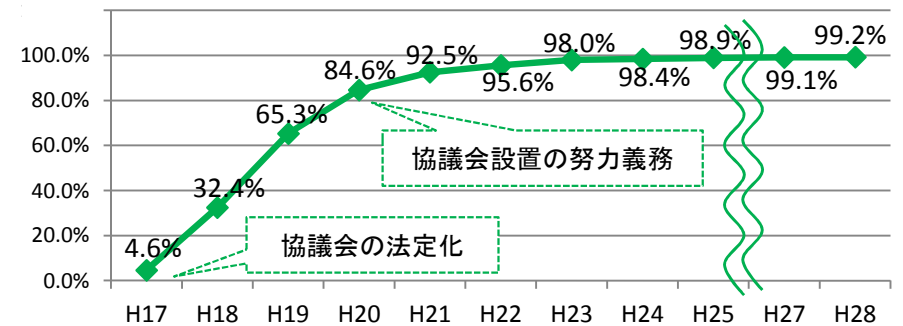
## 1. 要保護児童対策地域協議会の設置状況(各年度4月1日現在)

<設置か所数>

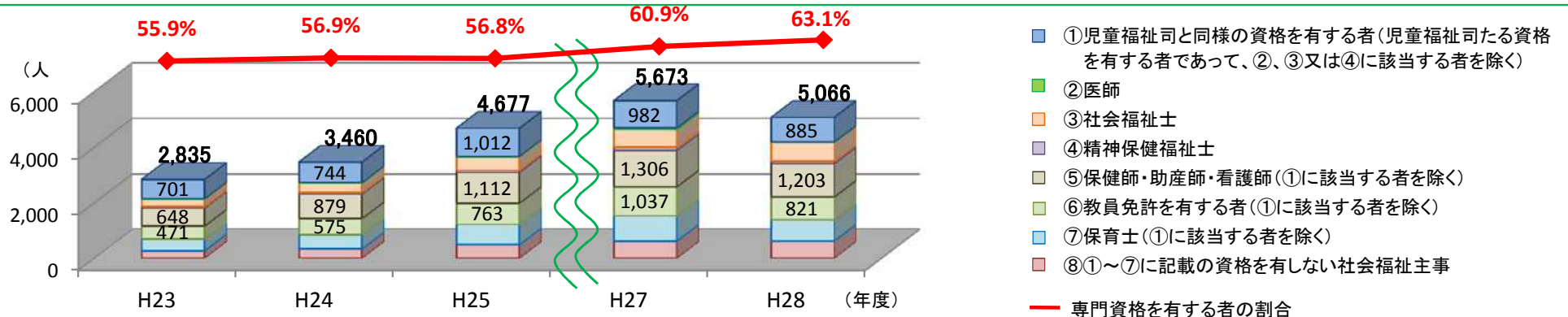
年 度	H17	H18	H19	H20	H21	H22
市町村数	111	598	1,193	1,532	1,663	1,673
割 合	4.6%	32.4%	65.3%	84.6%	92.5%	95.6%

年 度	H23	H24	H25	H27	H28
市町村数	1,587	1,714	1,722	1,726	1,727
割 合	98.0%	98.4%	98.9%	99.1%	99.2%

<設置率の推移>



## 2. 専門資格を有する者の配置状況(各年度4月1日現在)



## 2. 要保護児童対策地域協議会の設置運営状況調査

表1 要保護児童対策地域協議会の設置状況(平成28年4月1日現在)

児童福祉法第25条の2に規定する要保護児童対策地域協議会(以下、「地域協議会」という。)を設置済みの市町村(特別区含む。以下同じ。)は、全国1,741市町村のうち1,727か所(99.2%)であった。  
そのうち、「一部事務組合」における設置は、9か所(0.5%)、「広域連合」における設置は、21か所(1.2%)であった。

<単位:か所>

区 分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計
市町村数	22	62	198	532	744	183	1,741
設置している	22	62	198	532	736	177	1,727
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.9%	96.7%	99.2%
うち一部事務組合	0	0	0	2	5	2	9
	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.7%	1.1%	0.5%
うち広域連合	0	0	0	5	12	4	21
	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.6%	2.2%	1.2%
設置していない	0	0	0	0	8	6	14
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	3.3%	0.8%

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある

表2 都道府県別管内市町村における要保護児童対策地域協議会の設置状況(平成28年4月1日現在)

管内市町村における地域協議会の設置率が100%の都道府県は、39道府県であった。

<単位:市町村>

都道府県	管内市町村数	協議会設置市町村	
1 北海道	179	179	100.0%
2 青森県	40	40	100.0%
3 岩手県	33	33	100.0%
4 宮城県	35	35	100.0%
5 秋田県	25	25	100.0%
6 山形県	35	35	100.0%
7 福島県	59	54	91.5%
8 茨城県	44	44	100.0%
9 栃木県	25	25	100.0%
10 群馬県	35	35	100.0%
11 埼玉県	63	63	100.0%
12 千葉県	54	53	98.1%
13 東京都	62	60	96.8%
14 神奈川県	33	33	100.0%
15 新潟県	30	30	100.0%
16 富山県	15	14	93.3%
17 石川県	19	19	100.0%
18 福井県	17	17	100.0%
19 山梨県	27	27	100.0%
20 長野県	77	75	97.4%
21 岐阜県	42	42	100.0%
22 静岡県	35	35	100.0%
23 愛知県	54	54	100.0%
24 三重県	29	29	100.0%

都道府県	管内市町村数	協議会設置市町村	
25 滋賀県	19	19	100.0%
26 京都府	26	26	100.0%
27 大阪府	43	43	100.0%
28 兵庫県	41	41	100.0%
29 奈良県	39	38	97.4%
30 和歌山県	30	30	100.0%
31 鳥取県	19	19	100.0%
32 島根県	19	19	100.0%
33 岡山県	27	27	100.0%
34 広島県	23	22	95.7%
35 山口県	19	19	100.0%
36 徳島県	24	24	100.0%
37 香川県	17	16	94.1%
38 愛媛県	20	20	100.0%
39 高知県	34	34	100.0%
40 福岡県	60	60	100.0%
41 佐賀県	20	20	100.0%
42 長崎県	21	21	100.0%
43 熊本県	45	45	100.0%
44 大分県	18	18	100.0%
45 宮崎県	26	26	100.0%
46 鹿児島県	43	43	100.0%
47 沖縄県	41	41	100.0%
合計	1,741	1,727	99.2%

表3 要保護児童対策地域協議会の構成機関(平成28年4月1日現在)

地域協議会の構成機関として多かったものは、以下のとおりであった。  
 (行政機関) 教育委員会1,679か所(97.2%)、警察署1,660か所(96.1%)、児童相談所1,654か所(95.8%)  
 (関係機関) 小学校1,523か所(88.2%)、中学校1,487か所(86.1%)、保育所1,459か所(84.5%)  
 (関係団体) 民生児童委員協議会1,606か所(93.0%)、人権擁護委員1,079か所(62.5%)、医師会1,021か所(59.1%)

(平成28年4月1日現在) <単位:か所>

区分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上 30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合計	比率		
要保護児童対策地域協議会数	22	62	198	532	736	177	1,727	—		
行政機関	児童福祉主管課	18	53	188	481	464	78	1,282	74.2%	
	母子保健主管課	16	48	171	445	422	70	1,172	67.9%	
	児童福祉・母子保健統合主管課	8	14	28	96	324	126	596	34.5%	
	福祉事務所(家庭児童相談室)	16	39	133	402	193	52	835	48.3%	
	保健センター	15	45	126	305	310	60	861	49.9%	
	教育委員会	22	62	194	522	713	166	1,679	97.2%	
	保健所	12	57	178	472	512	100	1,331	77.1%	
	児童相談所	21	62	194	524	694	159	1,654	95.8%	
	障害福祉主管課	12	46	163	351	471	108	1,151	66.6%	
	警察署	21	62	195	523	701	158	1,660	96.1%	
	法務局	20	45	125	303	202	26	721	41.7%	
	家庭裁判所	10	10	21	22	27	5	95	5.5%	
	その他	17	47	116	195	169	42	586	33.9%	
	関係機関	病院・診療所	17	41	120	272	372	111	933	54.0%
		小児科	17	39	97	220	194	38	605	35.0%
		産科・産婦人科	12	24	63	83	61	7	250	14.5%
精神科		8	26	50	78	55	8	225	13.0%	
歯科		11	26	61	101	91	24	314	18.2%	
その他診療科		4	10	42	76	214	82	428	24.8%	
保育所		21	57	177	456	602	146	1,459	84.5%	
幼保連携型認定こども園		14	42	112	229	193	17	607	35.1%	
幼稚園		21	55	171	398	378	48	1,071	62.0%	
小学校		21	53	172	440	669	168	1,523	88.2%	
中学校		21	53	169	430	653	161	1,487	86.1%	
特別支援学校		8	33	77	155	100	12	385	22.3%	
児童館		9	30	56	125	114	22	356	20.6%	
放課後児童クラブ		9	31	59	105	147	32	383	22.2%	
利用者支援事業所		4	23	36	71	63	13	210	12.2%	
地域子育て支援拠点		8	28	57	131	156	27	407	23.6%	
乳児院		14	21	28	37	16	1	117	6.8%	
児童養護施設		20	41	84	131	70	7	353	20.4%	
情緒障害児短期治療施設		5	4	10	9	11	1	40	2.3%	
児童自立支援施設		5	6	6	14	9	2	42	2.4%	
児童家庭支援センター		13	16	39	82	54	10	214	12.4%	
障害児施設		9	13	26	57	35	5	145	8.4%	
配偶者暴力相談支援センター		9	27	36	73	24	5	174	10.1%	
その他	5	20	22	85	89	10	231	13.4%		
関係団体	医師会(産科医会及び小児科医会を除く)	19	59	188	438	291	26	1,021	59.1%	
	産科医会	8	12	27	21	21	2	91	5.3%	
	小児科医会	6	11	24	29	16	2	88	5.1%	
	歯科医師会	20	44	127	169	73	3	436	25.2%	
	看護協会	1	4	5	6	0	1	17	1.0%	
	助産師会	7	10	14	13	3	0	47	2.7%	
	PTA全国協議会	4	8	17	34	22	2	87	5.0%	
	弁護士会	19	30	39	50	17	1	156	9.0%	
	社会福祉協議会	11	40	127	296	387	95	956	55.4%	
	民生児童委員協議会	22	62	195	507	673	147	1,606	93.0%	
	人権擁護委員	17	51	142	377	418	74	1,079	62.5%	
	NPO法人	16	22	45	66	51	15	215	12.4%	
	里親会	14	10	10	21	13	4	72	4.2%	
	学識経験者	3	14	32	38	48	13	148	8.6%	
その他	15	24	71	156	132	16	414	24.0%		

※複数回答あり



表4 要保護児童対策調整機関の指定状況(平成28年4月1日現在)

児童福祉法第25条の2第4項に規定する要保護児童対策調整機関(以下、「調整機関」という。)は、「児童福祉主管課」が1,021か所(59.1%)で最も多く、次いで、「児童福祉・母子保健統合主管課」が408か所(23.6%)であった。  
 また、調整機関のうち、「家庭児童相談室を担っているもの」は842か所(48.8%)、「子育て世代包括支援センターを担っているもの」は122か所(7.1%)であった。

<単位:か所>

区 分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万 人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計	比 率
要保護児童対策調整機関数	22	62	198	532	736	177	1,727	—
うち家庭児童相談室を担っているもの	8	46	161	453	131	43	842	48.8%
うち子育て世代包括支援センターを担っているもの	3	5	11	26	57	20	122	7.1%
児童福祉主管課	8	41	146	390	385	51	1,021	59.1%
母子保健主管課	1	0	1	2	18	4	26	1.5%
児童福祉・母子保健統合主管課	4	7	13	44	244	96	408	23.6%
福祉事務所(家庭児童相談室)	2	9	22	60	2	0	95	5.5%
保健センター	0	0	0	1	13	4	18	1.0%
教育委員会	0	1	6	22	37	10	76	4.4%
保健所	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
児童相談所	2	0	0	0	1	0	3	0.2%
障害福祉主管課	0	0	1	3	9	5	18	1.0%
その他	5	4	9	10	27	7	62	3.6%

<その他の例>

・児童福祉・母子保健・障害福祉統合主管課

・子ども・若者相談センター

・人権擁護主管課

・児童福祉と教育委員会の統合課

表5 要保護児童対策調整機関の職員の配置状況(平成28年4月1日現在)

調整機関の職員として、「児童福祉司と同様の資格を有する者(①～④の計)」を配置しているものは、626か所(36.2%)であり、児童福祉司と同様の資格を有する者を含む「一定の専門資格を有する者(①～⑧の計)」を配置しているものは、1,368市町村(79.2%)であった。

<単位:か所>

区 分		指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計	
一定の専門資格を有する者	児童福祉司と同様の資格を有する者	① 児童福祉司と同様の資格を有する者 (児童福祉司たる資格を有する者であって、 ②、③又は④に該当する者を除く)	13	44	95	147	69	3	371
			59.1%	71.0%	48.0%	27.6%	9.4%	1.7%	21.5%
		② 医師	0	0	0	0	2	1	3
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.2%
		③ 社会福祉士	4	10	48	85	70	16	233
		18.2%	16.1%	24.2%	16.0%	9.5%	9.0%	13.5%	
		④ 精神保健福祉士	0	1	4	7	6	1	19
			0.0%	1.6%	2.0%	1.3%	0.8%	0.6%	1.1%
		小 計	17	55	147	239	147	21	626
			77.3%	88.7%	74.2%	44.9%	20.0%	11.9%	36.2%
	その他専門資格を有する者	⑤ 保健師・助産師・看護師 (①に該当する者を除く)	3	3	22	83	230	91	432
			13.6%	4.8%	11.1%	15.6%	31.3%	51.4%	25.0%
		⑥ 教員免許を有する者 (①に該当する者を除く)	0	1	15	118	37	3	174
			0.0%	1.6%	7.6%	22.2%	5.0%	1.7%	10.1%
	⑦ 保育士(①に該当する者を除く)	0	2	6	37	57	5	107	
		0.0%	3.2%	3.0%	7.0%	7.7%	2.8%	6.2%	
	小 計	3	6	43	238	324	99	713	
		13.6%	9.7%	21.7%	44.7%	44.0%	55.9%	41.3%	
	⑧ ①～⑦に記載の資格を有しない社会福祉主事	0	0	2	16	9	2	29	
		0.0%	0.0%	1.0%	3.0%	1.2%	1.1%	1.7%	
	小 計	20	61	192	493	480	122	1,368	
		90.9%	98.4%	97.0%	92.7%	65.2%	68.9%	79.2%	
有専門資格を有しない者	⑨ ①～⑧に記載の資格を有しない一般事務職員	2	1	6	39	251	55	354	
		9.1%	1.6%	3.0%	7.3%	34.1%	31.1%	20.5%	
	⑩ その他	0	0	0	0	5	0	5	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.3%	
	小 計	2	1	6	39	256	55	359	
		9.1%	1.6%	3.0%	7.3%	34.8%	31.1%	20.8%	
合 計		22	62	198	532	736	177	1,727	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

表6 都道府県別管内市町村における要保護児童対策調整機関の職員の配置状況(平成28年4月1日現在)

<単位:か所>

都道府県名	要保護児童対策調整機関数	一定の専門資格を有する者														専門資格を有しない者		合計			
		児童福祉司と同様の資格を有する者				その他専門資格を有する者				⑧ ①～⑦に記載の資格を有しない社会福祉主事		⑨ ①～⑧に記載の資格を有しない一般事務職員		⑩ その他							
		① 児童福祉司と同様の資格を有する者(児童福祉司たる資格を有する者であつて、②、③又は④に該当する者を除く)	② 医師	③ 社会福祉士	④ 精神保健福祉士	⑤ 保健師・助産師・看護師(①に該当する者を除く)	⑥ 教員免許を有する者(①に該当する者を除く)	⑦ 保育士(①に該当する者を除く)	小計	⑧ ①～⑦に記載の資格を有しない社会福祉主事	小計	⑨ ①～⑧に記載の資格を有しない一般事務職員	小計	⑩ その他	小計						
1 北海道	179	9	0	31	4	44	24.6%	43	14	14	71	39.7%	4	2.2%	119	66.5%	59	1	60	33.5%	179
2 青森県	40	2	0	3	0	5	12.5%	15	4	1	20	50.0%	2	5.0%	27	67.5%	13	0	13	32.5%	40
3 岩手県	33	0	0	3	0	3	9.1%	6	8	2	16	48.5%	2	6.1%	21	63.6%	12	0	12	36.4%	33
4 宮城県	35	2	0	3	0	5	14.3%	18	4	2	24	68.6%	0	0.0%	29	82.9%	6	0	6	17.1%	35
5 秋田県	25	2	0	1	0	3	12.0%	6	8	1	15	60.0%	0	0.0%	18	72.0%	7	0	7	28.0%	25
6 山形県	35	2	0	0	0	2	5.7%	14	11	0	25	71.4%	0	0.0%	27	77.1%	8	0	8	22.9%	35
7 福島県	54	2	0	3	0	5	9.3%	28	7	0	35	64.8%	1	1.9%	41	75.9%	12	1	13	24.1%	54
8 茨城県	44	4	0	9	0	13	29.5%	8	10	5	23	52.3%	2	4.5%	38	86.4%	6	0	6	13.6%	44
9 栃木県	25	11	0	0	0	11	44.0%	8	3	0	11	44.0%	0	0.0%	22	88.0%	3	0	3	12.0%	25
10 群馬県	35	3	0	2	0	5	14.3%	10	5	2	17	48.6%	2	5.7%	24	68.6%	11	0	11	31.4%	35
11 埼玉県	63	21	0	10	2	33	52.4%	4	6	6	16	25.4%	2	3.2%	51	81.0%	12	0	12	19.0%	63
12 千葉県	53	14	0	11	0	25	47.2%	8	4	2	14	26.4%	0	0.0%	39	73.6%	14	0	14	26.4%	53
13 東京都	60	47	0	6	0	53	88.3%	5	0	1	6	10.0%	0	0.0%	59	98.3%	1	0	1	1.7%	60
14 神奈川県	33	7	0	11	1	19	57.6%	7	3	0	10	30.3%	0	0.0%	29	87.9%	4	0	4	12.1%	33
15 新潟県	30	9	0	3	0	12	40.0%	14	3	1	18	60.0%	0	0.0%	30	100.0%	0	0	0	0.0%	30
16 富山県	14	8	0	0	0	8	57.1%	2	2	0	4	28.6%	0	0.0%	12	85.7%	2	0	2	14.3%	14
17 石川県	19	7	0	3	0	10	52.6%	4	0	5	9	47.4%	0	0.0%	19	100.0%	0	0	0	0.0%	19
18 福井県	17	0	0	5	1	6	35.3%	5	1	5	11	64.7%	0	0.0%	17	100.0%	0	0	0	0.0%	17
19 山梨県	27	1	0	2	2	5	18.5%	15	4	0	19	70.4%	0	0.0%	24	88.9%	3	0	3	11.1%	27
20 長野県	75	9	0	10	0	19	25.3%	28	7	6	41	54.7%	2	2.7%	62	82.7%	13	0	13	17.3%	75
21 岐阜県	42	5	0	5	0	10	23.8%	10	8	6	24	57.1%	0	0.0%	34	81.0%	8	0	8	19.0%	42
22 静岡県	35	9	0	8	0	17	48.6%	7	2	1	10	28.6%	0	0.0%	27	77.1%	8	0	8	22.9%	35
23 愛知県	54	9	0	6	2	17	31.5%	17	8	4	29	53.7%	0	0.0%	46	85.2%	8	0	8	14.8%	54
24 三重県	29	19	0	2	1	22	75.9%	6	0	1	7	24.1%	0	0.0%	29	100.0%	0	0	0	0.0%	29
25 滋賀県	19	15	1	1	0	17	89.5%	1	1	0	2	10.5%	0	0.0%	19	100.0%	0	0	0	0.0%	19
26 京都府	26	7	0	7	1	15	57.7%	3	1	4	8	30.8%	0	0.0%	23	88.5%	3	0	3	11.5%	26
27 大阪府	43	23	0	15	0	38	88.4%	2	2	1	5	11.6%	0	0.0%	43	100.0%	0	0	0	0.0%	43
28 兵庫県	41	21	0	9	0	30	73.2%	5	2	0	7	17.1%	1	2.4%	38	92.7%	3	0	3	7.3%	41
29 奈良県	38	4	0	0	0	4	10.5%	12	4	5	21	55.3%	0	0.0%	25	65.8%	13	0	13	34.2%	38
30 和歌山県	30	5	0	3	0	8	26.7%	6	2	3	11	36.7%	2	6.7%	21	70.0%	9	0	9	30.0%	30
31 鳥取県	19	4	0	4	0	8	42.1%	7	0	2	9	47.4%	1	5.3%	18	94.7%	1	0	1	5.3%	19
32 島根県	19	5	0	3	1	9	47.4%	7	0	1	8	42.1%	0	0.0%	17	89.5%	2	0	2	10.5%	19
33 岡山県	27	8	0	4	1	13	48.1%	9	2	0	11	40.7%	0	0.0%	24	88.9%	3	0	3	11.1%	27
34 広島県	22	12	0	3	0	15	68.2%	2	1	1	4	18.2%	0	0.0%	19	86.4%	3	0	3	13.6%	22
35 山口県	19	7	0	2	0	9	47.4%	4	4	1	9	47.4%	0	0.0%	18	94.7%	1	0	1	5.3%	19
36 徳島県	24	2	0	3	0	5	20.8%	6	2	3	11	45.8%	0	0.0%	16	66.7%	8	0	8	33.3%	24
37 香川県	16	2	0	3	0	5	31.3%	4	3	1	8	50.0%	0	0.0%	13	81.3%	2	1	3	18.8%	16
38 愛媛県	20	4	0	1	0	5	25.0%	2	3	4	9	45.0%	2	10.0%	16	80.0%	4	0	4	20.0%	20
39 高知県	34	6	0	2	0	8	23.5%	13	3	0	16	47.1%	0	0.0%	24	70.6%	10	0	10	29.4%	34
40 福岡県	60	16	0	5	0	21	35.0%	13	7	4	24	40.0%	0	0.0%	45	75.0%	15	0	15	25.0%	60
41 佐賀県	20	2	0	2	0	4	20.0%	3	2	1	6	30.0%	0	0.0%	10	50.0%	10	0	10	50.0%	20
42 長崎県	21	10	0	3	0	13	61.9%	3	0	1	4	19.0%	0	0.0%	17	81.0%	3	1	4	19.0%	21
43 熊本県	45	0	0	8	2	10	22.2%	11	2	5	18	40.0%	1	2.2%	29	64.4%	16	0	16	35.6%	45
44 大分県	18	3	0	4	0	7	38.9%	6	2	0	8	44.4%	0	0.0%	15	83.3%	3	0	3	16.7%	18
45 宮崎県	26	7	0	1	0	8	30.8%	6	0	1	7	26.9%	1	3.8%	16	61.5%	10	0	10	38.5%	26
46 鹿児島県	43	1	1	2	1	5	11.6%	10	6	4	20	46.5%	4	9.3%	29	67.4%	14	0	14	32.6%	43
47 沖縄県	41	5	1	11	0	17	41.5%	9	3	0	12	29.3%	0	0.0%	29	70.7%	11	1	12	29.3%	41
合計	1,727	371	3	233	19	626	36.2%	432	174	107	713	41.3%	29	1.7%	1,368	79.2%	354	5	359	20.8%	1,727

\*割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。



表7 要保護児童対策調整機関の職員の配置状況(職員別)(平成28年4月1日現在)

調整機関の職員は、全国で8,033名が配置されており、そのうち「児童福祉司と同様の資格を有する者(①～④の計)」は、1,663名(20.7%)であり、児童福祉司と同様の資格を有する者を含む「一定の専門資格を有する者(①～⑧の計)」は、5,066名(63.1%)であった。

<単位:人>

区 分		指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計	
一定の専門資格を有する者	児童福祉司と同様の資格を有する者	① 児童福祉司と同様の資格を有する者 (児童福祉司たる資格を有する者であつて、②、③又は④に該当する者を除く)	103	202	230	240	106	4	885
			11.2%	23.4%	17.4%	10.6%	4.8%	0.9%	11.0%
		② 医師	2	0	6	0	6	1	15
			0.2%	0.0%	0.5%	0.0%	0.3%	0.2%	0.2%
		③ 社会福祉士	73	139	194	163	90	18	677
		8.0%	16.1%	14.7%	7.2%	4.1%	3.9%	8.4%	
		④ 精神保健福祉士	13	11	26	22	13	1	86
			1.4%	1.3%	2.0%	1.0%	0.6%	0.2%	1.1%
		小 計	191	352	456	425	215	24	1,663
			20.9%	40.8%	34.6%	18.8%	9.7%	5.2%	20.7%
	その他専門資格を有する者	⑤ 保健師・助産師・看護師 (①に該当する者を除く)	137	108	121	222	452	163	1,203
			15.0%	12.5%	9.2%	9.8%	20.4%	35.0%	15.0%
		⑥ 教員免許を有する者 (①に該当する者を除く)	77	81	142	384	125	12	821
			8.4%	9.4%	10.8%	17.0%	5.6%	2.6%	10.2%
	⑦ 保育士(①に該当する者を除く)	96	85	141	244	174	20	760	
		10.5%	9.8%	10.7%	10.8%	7.9%	4.3%	9.5%	
	小 計	310	274	404	850	751	195	2,784	
		33.8%	31.7%	30.6%	37.7%	33.9%	41.8%	34.7%	
	⑧ ①～⑦に記載の資格を有しない社会福祉主事	194	77	125	163	47	13	619	
		21.2%	8.9%	9.5%	7.2%	2.1%	2.8%	7.7%	
	小 計	695	703	985	1,438	1,013	232	5,066	
		75.9%	81.5%	74.7%	63.8%	45.8%	49.8%	63.1%	
有しない者を	⑨ ①～⑧に記載の資格を有しない一般事務職員	169	77	219	661	1,136	224	2,486	
		18.4%	8.9%	16.6%	29.3%	51.3%	48.1%	30.9%	
	⑩ その他	52	83	115	156	65	10	481	
		5.7%	9.6%	8.7%	6.9%	2.9%	2.1%	6.0%	
	小 計	221	160	334	817	1,201	234	2,967	
		24.1%	18.5%	25.3%	36.2%	54.2%	50.2%	36.9%	
合 計		916	863	1,319	2,255	2,214	466	8,033	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
1調整機関あたりの平均配置人数		41.6	13.9	6.7	4.2	3.0	2.6	4.7	

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

表8 都道府県別管内市町村における要保護児童対策調整機関の職員の配置状況(職員別)(平成28年4月1日現在)

<単位:人>

都道府県名	協議会数	一定の専門資格を有する者												専門資格を有しない者			合計				
		児童福祉司と同様の資格を有する者					その他専門資格を有する者					⑨ ①～⑧に記載の資格を有しない一般事務職員		⑩ その他							
		① 児童福祉司と同様の資格を有する者(児童福祉司たる資格を有する者であつて、②、③又は④に該当する者を除く)	② 医師	③ 社会福祉士	④ 精神保健福祉士	小計	⑤ 保健師・助産師・看護師(①に該当する者を除く)	⑥ 教員免許を有する者(①に該当する者を除く)	⑦ 保育士(①に該当する者を除く)	小計	⑧ ①～⑦に記載の資格を有しない社会福祉主事	小計	⑨	⑩	小計						
1 北海道	179	14	1	38	5	58	8.1%	128	46	50	224	31.2%	28	3.9%	310	43.1%	389	20	409	56.9%	719
2 青森県	40	2	0	4	0	6	5.0%	30	8	6	44	36.7%	9	7.5%	59	49.2%	60	1	61	50.8%	120
3 岩手県	33	0	0	4	0	4	3.1%	17	21	6	44	34.4%	6	4.7%	54	42.2%	64	10	74	57.8%	128
4 宮城県	35	2	0	5	0	7	5.1%	26	19	13	58	42.3%	4	2.9%	69	50.4%	54	14	68	49.6%	137
5 秋田県	25	5	0	5	0	10	8.5%	13	24	8	45	38.5%	4	3.4%	59	50.4%	48	10	58	49.6%	117
6 山形県	35	2	0	0	0	2	1.8%	21	15	9	45	40.9%	12	10.9%	59	53.6%	47	4	51	46.4%	110
7 福島県	54	4	0	3	0	7	4.2%	43	25	4	72	43.4%	9	5.4%	88	53.0%	71	7	78	47.0%	166
8 茨城県	44	6	0	14	0	20	13.1%	12	24	15	51	33.3%	17	11.1%	88	57.5%	55	10	65	42.5%	153
9 栃木県	25	25	0	4	1	30	23.6%	13	17	9	39	30.7%	6	4.7%	75	59.1%	44	8	52	40.9%	127
10 群馬県	35	6	0	3	0	9	5.8%	49	18	10	77	50.0%	7	4.5%	93	60.4%	48	13	61	39.6%	154
11 埼玉県	63	46	0	46	6	98	29.1%	27	30	23	80	23.7%	56	16.6%	234	69.4%	87	16	103	30.6%	337
12 千葉県	53	27	0	27	2	56	22.5%	35	38	22	95	38.2%	17	6.8%	168	67.5%	62	19	81	32.5%	249
13 東京都	60	195	6	134	15	350	52.3%	52	39	68	159	23.8%	40	6.0%	549	82.1%	61	59	120	17.9%	669
14 神奈川県	33	11	0	23	3	37	14.0%	57	21	18	96	36.4%	80	30.3%	213	80.7%	37	14	51	19.3%	264
15 新潟県	30	18	0	13	0	31	16.2%	35	35	19	89	46.6%	21	11.0%	141	73.8%	41	9	50	26.2%	191
16 富山県	14	12	0	4	0	16	28.1%	4	11	3	18	31.6%	1	1.8%	35	61.4%	21	1	22	38.6%	57
17 石川県	19	19	0	9	1	29	42.6%	6	0	14	20	29.4%	1	1.5%	50	73.5%	18	0	18	26.5%	68
18 福井県	17	0	0	6	1	7	12.5%	9	7	15	31	55.4%	1	1.8%	39	69.6%	13	4	17	30.4%	56
19 山梨県	27	1	0	2	2	5	4.7%	33	6	12	51	47.7%	3	2.8%	59	55.1%	47	1	48	44.9%	107
20 長野県	75	14	0	16	0	30	12.0%	62	24	32	118	47.0%	18	7.2%	166	66.1%	74	11	85	33.9%	251
21 岐阜県	42	11	0	10	0	21	15.0%	11	21	21	53	37.9%	8	5.7%	82	58.6%	55	3	58	41.4%	140
22 静岡県	35	28	0	14	0	42	27.3%	21	17	8	46	29.9%	15	9.7%	103	66.9%	40	11	51	33.1%	154
23 愛知県	54	27	0	25	6	58	16.7%	36	54	44	134	38.5%	24	6.9%	216	62.1%	119	13	132	37.9%	348
24 三重県	29	47	0	7	2	56	28.7%	20	23	16	59	30.3%	8	4.1%	123	63.1%	49	23	72	36.9%	195
25 滋賀県	19	42	1	15	1	59	47.6%	4	8	17	29	23.4%	9	7.3%	97	78.2%	17	10	27	21.8%	124
26 京都府	26	14	0	19	6	39	18.1%	16	20	17	53	24.7%	59	27.4%	151	70.2%	52	12	64	29.8%	215
27 大阪府	43	70	2	63	8	143	32.0%	24	25	64	113	25.3%	51	11.4%	307	68.7%	79	61	140	31.3%	447
28 兵庫県	41	44	1	27	7	79	29.7%	76	24	15	115	43.2%	18	6.8%	212	79.7%	48	6	54	20.3%	266
29 奈良県	38	7	0	6	0	13	11.0%	18	10	27	55	46.6%	2	1.7%	70	59.3%	45	3	48	40.7%	118
30 和歌山県	30	7	0	7	0	14	16.3%	23	8	9	40	46.5%	5	5.8%	59	68.6%	24	3	27	31.4%	86
31 鳥取県	19	12	0	7	1	20	34.5%	15	4	5	24	41.4%	4	6.9%	48	82.8%	9	1	10	17.2%	58
32 島根県	19	8	0	4	1	13	25.0%	18	2	1	21	40.4%	4	7.7%	38	73.1%	13	1	14	26.9%	52
33 岡山県	27	26	0	11	1	38	24.5%	35	25	18	78	50.3%	5	3.2%	121	78.1%	28	6	34	21.9%	155
34 広島県	22	22	0	8	1	31	37.8%	4	13	5	22	26.8%	6	7.3%	59	72.0%	17	6	23	28.0%	82
35 山口県	19	15	0	5	1	21	29.6%	8	9	5	22	31.0%	5	7.0%	48	67.6%	18	5	23	32.4%	71
36 徳島県	24	3	2	3	0	8	11.8%	9	6	11	26	38.2%	2	2.9%	36	52.9%	29	3	32	47.1%	68
37 香川県	16	2	0	4	2	8	15.7%	11	5	6	22	43.1%	2	3.9%	32	62.7%	16	3	19	37.3%	51
38 愛媛県	20	13	0	2	1	16	15.1%	9	13	19	41	38.7%	10	9.4%	67	63.2%	28	11	39	36.8%	106
39 高知県	34	11	0	9	1	21	18.4%	24	10	5	39	34.2%	2	1.8%	62	54.4%	43	9	52	45.6%	114
40 福岡県	60	31	0	20	2	53	20.3%	22	20	36	78	29.9%	8	3.1%	139	53.3%	112	10	122	46.7%	261
41 佐賀県	20	2	0	2	0	4	7.4%	7	5	3	15	27.8%	0	0.0%	19	35.2%	32	3	35	64.8%	54
42 長崎県	21	14	0	6	2	22	22.2%	17	18	4	39	39.4%	5	5.1%	66	66.7%	28	5	33	33.3%	99
43 熊本県	45	0	0	9	5	14	8.9%	29	9	18	56	35.4%	9	5.7%	79	50.0%	68	11	79	50.0%	158
44 大分県	18	3	0	11	0	14	13.9%	11	17	8	36	35.6%	3	3.0%	53	52.5%	32	16	48	47.5%	101
45 宮崎県	26	10	0	2	0	12	16.2%	18	6	4	28	37.8%	3	4.1%	43	58.1%	30	1	31	41.9%	74
46 鹿児島県	43	1	1	2	1	5	3.7%	25	10	9	44	32.8%	7	5.2%	56	41.8%	69	9	78	58.2%	134
47 沖縄県	41	6	1	19	1	27	22.1%	20	11	9	40	32.8%	5	4.1%	72	59.0%	45	5	50	41.0%	122
合計	1,727	885	15	677	86	1,663	20.7%	1,203	821	760	2,784	34.7%	619	7.7%	5,066	63.1%	2,486	481	2,967	36.9%	8,033

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

表9 要保護児童対策調整機関の職員の正規・非正規別業務経験年数(平成28年4月1日現在)

調整機関の担当職員のうち、「正規職員」は5,754名(71.6%)、「非正規職員」は2,279名(28.4%)であった。  
また、業務経験年数については、「1年～2年未満」が1,678名(20.9%)と最も多く、次いで、「6か月未満」が1,661名(20.7%)となっている。

		＜単位：人＞							
区 分		6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	合 計
正 規 職 員	指定都市・ 児童相談所設置市	157 23.0%	27 3.9%	154 22.5%	101 14.8%	143 20.9%	81 11.8%	21 3.1%	684 8.5%
	市・区 (人口30万人以上)	141 26.0%	25 4.6%	114 21.0%	68 12.5%	98 18.1%	80 14.8%	16 3.0%	542 6.7%
	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	194 24.7%	48 6.1%	185 23.6%	141 18.0%	120 15.3%	87 11.1%	9 1.1%	784 9.8%
	市・区 (人口10万人未満)	344 26.6%	96 7.4%	310 24.0%	192 14.9%	223 17.3%	111 8.6%	16 1.2%	1292 16.1%
	町	383 19.1%	196 9.8%	440 21.9%	306 15.2%	296 14.7%	240 12.0%	147 7.3%	2,008 25.0%
	村	52 11.7%	52 11.7%	67 15.1%	68 15.3%	67 15.1%	82 18.5%	56 12.6%	444 5.5%
	小 計	1,271 22.1%	444 7.7%	1,270 22.1%	876 15.2%	947 16.5%	681 11.8%	265 4.6%	5,754 71.6%
非 正 規 職 員	指定都市・ 児童相談所設置市	51 22.0%	8 3.4%	36 15.5%	28 12.1%	35 15.1%	43 18.5%	31 13.4%	232 2.9%
	市・区 (人口30万人以上)	63 19.6%	20 6.2%	64 19.9%	41 12.8%	51 15.9%	60 18.7%	22 6.9%	321 4.0%
	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	84 15.7%	30 5.6%	85 15.9%	75 14.0%	104 19.4%	106 19.8%	51 9.5%	535 6.7%
	市・区 (人口10万人未満)	153 15.9%	56 5.8%	173 18.0%	128 13.3%	156 16.2%	193 20.0%	104 10.8%	963 12.0%
	町	36 17.5%	20 9.7%	46 22.3%	25 12.1%	41 19.9%	30 14.6%	8 3.9%	206 2.6%
	村	3 13.6%	5 22.7%	4 18.2%	4 18.2%	2 9.1%	2 9.1%	2 9.1%	22 0.3%
	小 計	390 17.1%	139 6.1%	408 17.9%	301 13.2%	389 17.1%	434 19.0%	218 9.6%	2,279 28.4%
合 計	1,661 20.7%	583 7.3%	1,678 20.9%	1,177 14.7%	1,336 16.6%	1,115 13.9%	483 6.0%	8,033 100.0%	

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

表10 要保護児童対策調整機関の職員の常勤・非常勤別業務経験年数(平成28年4月1日現在)

調整機関の職員のうち、「常勤職員」は6,094名(75.9%)、「非常勤職員」は1,939名(24.1%)であった。

<単位:人>

区 分		6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	合 計
常勤職員	指定都市・児童相談所設置市	153 22.5%	27 4.0%	154 22.6%	102 15.0%	141 20.7%	82 12.0%	22 3.2%	681 8.5%
	市・区 (人口30万人以上)	142 25.6%	25 4.5%	119 21.5%	73 13.2%	99 17.9%	77 13.9%	19 3.4%	554 6.9%
	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	210 24.1%	54 6.2%	202 23.2%	155 17.8%	130 14.9%	102 11.7%	18 2.1%	871 10.8%
	市・区 (人口10万人未満)	356 24.6%	111 7.7%	346 23.9%	210 14.5%	244 16.9%	146 10.1%	34 2.3%	1447 18.0%
	町	392 18.8%	210 10.1%	458 22.0%	311 14.9%	313 15.0%	252 12.1%	150 7.2%	2,086 26.0%
	村	53 11.6%	56 12.3%	70 15.4%	70 15.4%	67 14.7%	82 18.0%	57 12.5%	455 5.7%
	小 計	1,306 21.4%	483 7.9%	1,349 22.1%	921 15.1%	994 16.3%	741 12.2%	300 4.9%	6,094 75.9%
非常勤職員	指定都市・児童相談所設置市	55 23.4%	8 3.4%	36 15.3%	27 11.5%	37 15.7%	42 17.9%	30 12.8%	235 2.9%
	市・区 (人口30万人以上)	62 20.1%	20 6.5%	59 19.1%	36 11.7%	50 16.2%	63 20.4%	19 6.1%	309 3.8%
	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	68 15.2%	24 5.4%	68 15.2%	61 13.6%	94 21.0%	91 20.3%	42 9.4%	448 5.6%
	市・区 (人口10万人未満)	141 17.5%	41 5.1%	137 17.0%	110 13.6%	135 16.7%	158 19.6%	86 10.6%	808 10.1%
	町	27 21.1%	6 4.7%	28 21.9%	20 15.6%	24 18.8%	18 14.1%	5 3.9%	128 1.6%
	村	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	11 0.1%
	小 計	355 18.3%	100 5.2%	329 17.0%	256 13.2%	342 17.6%	374 19.3%	183 9.4%	1,939 24.1%
合 計	1,661 20.7%	583 7.3%	1,678 20.9%	1,177 14.7%	1,336 16.6%	1,115 13.9%	483 6.0%	8,033 100.0%	

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

表11 要保護児童対策調整機関の職員の専任・兼任の状況(平成28年4月1日現在)

調整機関の職員のうち、「専任」の者は2,884名(35.9%)、「兼任」の者は5,149名(64.1%)であった。  
 そのうち、「家庭児童相談室」を兼任している者が2,220名(27.6%)、「子育て世代包括支援センター」を兼任している者が622名(7.7%)であった。

<単位:人>

区 分	配置人数	専 任	兼 任	兼 任	
				うち家庭児童相談室	うち子育て世代包括支援センター
指定都市・ 児童相談所設置市	916	294 32.1%	622 67.9%	450 49.1%	174 19.0%
市・区 (人口30万人以上)	863	608 70.5%	255 29.5%	150 17.4%	7 0.8%
市・区 (人口10万人以上30万人未 満)	1,319	789 59.8%	530 40.2%	350 26.5%	35 2.7%
市・区 (人口10万人未満)	2,255	843 37.4%	1,412 62.6%	787 34.9%	96 4.3%
町	2,214	306 13.8%	1,908 86.2%	369 16.7%	233 10.5%
村	466	44 9.4%	422 90.6%	114 24.5%	77 16.5%
合 計	8,033	2,884 35.9%	5,149 64.1%	2,220 27.6%	622 7.7%

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

表12 要保護児童対策調整機関の職員の配置状況(正規・非正規、常勤・非常勤、専任・兼任別)(平成28年4月1日現在)

<単位:人>

都道府県名	正規職員・非正規職員の配置状況				常勤職員・非常勤職員の配置状況				専任職員・兼任職員の配置状況			
	正規職員		非正規職員		常勤職員		非常勤職員		専任職員		兼任職員	
	職員数	割合	職員数	割合	職員数	割合	職員数	割合	職員数	割合	職員数	割合
1 北海道	637	88.6%	82	11.4%	642	89.3%	77	10.7%	140	19.5%	579	80.5%
2 青森県	106	88.3%	14	11.7%	106	88.3%	14	11.7%	30	25.0%	90	75.0%
3 岩手県	101	78.9%	27	21.1%	102	79.7%	26	20.3%	39	30.5%	89	69.5%
4 宮城県	88	64.2%	49	35.8%	93	67.9%	44	32.1%	57	41.6%	80	58.4%
5 秋田県	67	57.3%	50	42.7%	68	58.1%	49	41.9%	32	27.4%	85	72.6%
6 山形県	90	81.8%	20	18.2%	90	81.8%	20	18.2%	24	21.8%	86	78.2%
7 福島県	133	80.1%	33	19.9%	138	83.1%	28	16.9%	27	16.3%	139	83.7%
8 茨城県	95	62.1%	58	37.9%	92	60.1%	61	39.9%	45	29.4%	108	70.6%
9 栃木県	82	64.6%	45	35.4%	87	68.5%	40	31.5%	40	31.5%	87	68.5%
10 群馬県	123	79.9%	31	20.1%	123	79.9%	31	20.1%	55	35.7%	99	64.3%
11 埼玉県	253	75.1%	84	24.9%	255	75.7%	82	24.3%	110	32.6%	227	67.4%
12 千葉県	155	62.2%	94	37.8%	160	64.3%	89	35.7%	136	54.6%	113	45.4%
13 東京都	425	63.5%	244	36.5%	461	68.9%	208	31.1%	538	80.4%	131	19.6%
14 神奈川県	205	77.7%	59	22.3%	207	78.4%	57	21.6%	66	25.0%	198	75.0%
15 新潟県	126	66.0%	65	34.0%	130	68.1%	61	31.9%	52	27.2%	139	72.8%
16 富山県	38	66.7%	19	33.3%	47	82.5%	10	17.5%	15	26.3%	42	73.7%
17 石川県	60	88.2%	8	11.8%	63	92.6%	5	7.4%	13	19.1%	55	80.9%
18 福井県	36	64.3%	20	35.7%	44	78.6%	12	21.4%	23	41.1%	33	58.9%
19 山梨県	85	79.4%	22	20.6%	89	83.2%	18	16.8%	23	21.5%	84	78.5%
20 長野県	185	73.7%	66	26.3%	230	91.6%	21	8.4%	48	19.1%	203	80.9%
21 岐阜県	100	71.4%	40	28.6%	113	80.7%	27	19.3%	47	33.6%	93	66.4%
22 静岡県	106	68.8%	48	31.2%	114	74.0%	40	26.0%	40	26.0%	114	74.0%
23 愛知県	250	71.8%	98	28.2%	255	73.3%	93	26.7%	131	37.6%	217	62.4%
24 三重県	139	71.3%	56	28.7%	170	87.2%	25	12.8%	82	42.1%	113	57.9%
25 滋賀県	53	42.7%	71	57.3%	73	58.9%	51	41.1%	103	83.1%	21	16.9%
26 京都府	133	61.9%	82	38.1%	136	63.3%	79	36.7%	35	16.3%	180	83.7%
27 大阪府	287	64.2%	160	35.8%	282	63.1%	165	36.9%	204	45.6%	243	54.4%
28 兵庫県	175	65.8%	91	34.2%	194	72.9%	72	27.1%	78	29.3%	188	70.7%
29 奈良県	85	72.0%	33	28.0%	99	83.9%	19	16.1%	45	38.1%	73	61.9%
30 和歌山県	76	88.4%	10	11.6%	78	90.7%	8	9.3%	18	20.9%	68	79.1%
31 鳥取県	47	81.0%	11	19.0%	47	81.0%	11	19.0%	9	15.5%	49	84.5%
32 島根県	47	90.4%	5	9.6%	48	92.3%	4	7.7%	10	19.2%	42	80.8%
33 岡山県	94	60.6%	61	39.4%	99	63.9%	56	36.1%	81	52.3%	74	47.7%
34 広島県	53	64.6%	29	35.4%	54	65.9%	28	34.1%	25	30.5%	57	69.5%
35 山口県	50	70.4%	21	29.6%	55	77.5%	16	22.5%	29	40.8%	42	59.2%
36 徳島県	49	72.1%	19	27.9%	50	73.5%	18	26.5%	13	19.1%	55	80.9%
37 香川県	31	60.8%	20	39.2%	41	80.4%	10	19.6%	11	21.6%	40	78.4%
38 愛媛県	73	68.9%	33	31.1%	94	88.7%	12	11.3%	27	25.5%	79	74.5%
39 高知県	91	79.8%	23	20.2%	92	80.7%	22	19.3%	46	40.4%	68	59.6%
40 福岡県	191	73.2%	70	26.8%	214	82.0%	47	18.0%	98	37.5%	163	62.5%
41 佐賀県	40	74.1%	14	25.9%	41	75.9%	13	24.1%	12	22.2%	42	77.8%
42 長崎県	61	61.6%	38	38.4%	67	67.7%	32	32.3%	31	31.3%	68	68.7%
43 熊本県	120	75.9%	38	24.1%	121	76.6%	37	23.4%	54	34.2%	104	65.8%
44 大分県	60	59.4%	41	40.6%	64	63.4%	37	36.6%	54	53.5%	47	46.5%
45 宮崎県	61	82.4%	13	17.6%	61	82.4%	13	17.6%	24	32.4%	50	67.6%
46 鹿児島県	105	78.4%	29	21.6%	108	80.6%	26	19.4%	28	20.9%	106	79.1%
47 沖縄県	87	71.3%	35	28.7%	97	79.5%	25	20.5%	36	29.5%	86	70.5%
合計	5,754	71.6%	2,279	28.4%	6,094	75.9%	1,939	24.1%	2,884	35.9%	5,149	64.1%

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

表13 要保護児童対策地域協議会の開催実績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

地域協議会における各会議の開催実績は、  
 ・代表者会議 1,489回(平均 0.99回)  
 ・実務者会議 9,115回(平均 6.74回)  
 ・個別ケース検討会議 48,963回(平均32.09回)  
 また、複数の会議の機能を併せもった各会議の開催実績は、  
 ・代表者会議と実務者会議 121回(平均1.10回)  
 ・代表者会議と個別ケース検討会議 42回(平均1.08回)  
 ・実務者会議と個別ケース検討会議 1,078回(平均5.04回)  
 ・代表者会議、実務者会議及び個別ケース検討会議 346回(平均3.72回)  
 であった。

区 分	設置協議会数	開催回数	平均開催回数	設置率
代表者会議(単独設置)	1,505	1,489	0.99	87.1%
実務者会議(単独設置)	1,352	9,115	6.74	78.3%
個別ケース検討会議(単独設置)	1,526	48,963	32.09	88.4%
代表者会議と実務者会議	110	121	1.10	6.4%
代表者会議と個別ケース検討会議	39	42	1.08	2.3%
実務者会議と個別ケース検討会議	214	1,078	5.04	12.4%
代表者会議、実務者会議及び個別ケース検討会議	93	346	3.72	5.4%

※複数回答あり

表14 要保護児童対策地域協議会における実務者会議の運用状況(平成28年4月1日現在)

地域協議会のうち、「実務者会議を分割又は実務者会議の下に複数の会議を設けている。」ものは233か所(13.5%)であり、そのうち、「管内の地域別に区分」しているものが81か所(34.8%)と最も多かった。

<単位:か所>

区 分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計
要保護児童対策地域協議会数	22	62	198	532	736	177	1,727
実務者会議を分割又は実務者会議 の下に複数の会議を設けている。	13	34	57	77	46	6	233
	59.1%	54.8%	28.8%	14.5%	6.3%	3.4%	13.5%
管内の地域別に区分	12	19	9	24	17	0	81
	92.3%	55.9%	15.8%	31.2%	37.0%	—	34.8%
相談種別ごとに区分	1	6	20	16	14	5	62
	7.7%	17.6%	35.1%	20.8%	30.4%	83.3%	26.6%
児童の年齢で区分	0	8	13	19	9	1	50
	—	23.5%	22.8%	24.7%	19.6%	16.7%	21.5%
その他	4	8	24	28	15	0	79
	30.8%	23.5%	42.1%	36.4%	32.6%	—	33.9%

※複数回答あり

<その他の例>

- ・実務者会議の下に、居住実態不明児童関係会議、医療機関のネットワーク会議等を設置
- ・特定妊婦、要支援・要保護児童に分けて設置
- ・被虐待児童と要支援児童に分けて設置



表15 要保護児童対策地域協議会に登録されているケース数(平成28年4月1日現在)

地域協議会に登録されているケースは、全国で219,004件あり、「要保護児童」が135,534件(61.9%)、「要支援児童」が78,685件(35.9%)、「特定妊婦」が4,785(2.2%)であった。  
また、要保護児童のうち「児童虐待」が97,428件(44.5%)と最も多かった。

<単位:件>

ケース区分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計
登録されている要保護児童数	26,404	27,183	34,154	35,650	11,499	644	135,534
	68.2%	70.4%	61.2%	56.8%	52.4%	54.8%	61.9%
うち児童虐待	19,779	20,217	25,636	23,031	8,406	359	97,428
	51.1%	52.4%	45.9%	36.7%	38.3%	30.5%	44.5%
うち非行	221	157	221	757	197	21	1,574
	0.6%	0.4%	0.4%	1.2%	0.9%	1.8%	0.7%
うち不登校・いじめ	161	107	883	1,446	663	62	3,322
	0.4%	0.3%	1.6%	2.3%	3.0%	5.3%	1.5%
うち生活困窮	164	479	566	1,109	337	53	2,708
	0.4%	1.2%	1.0%	1.8%	1.5%	4.5%	1.2%
不明	142	17	10	42	39	9	259
	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.8%	0.1%
その他	6,079	6,223	6,848	9,307	1,896	149	30,502
	15.7%	16.1%	12.3%	14.8%	8.6%	12.7%	13.9%
登録されている要支援児童数	11,361	10,774	20,332	25,732	9,977	509	78,685
	29.3%	27.9%	36.4%	41.0%	45.4%	43.3%	35.9%
登録されている特定妊婦数	971	639	1,320	1,355	477	23	4,785
	2.5%	1.7%	2.4%	2.2%	2.2%	2.0%	2.2%
合 計	38,736	38,596	55,806	62,737	21,953	1,176	219,004

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

<その他の例>

・性格行動相談、障害相談、養護相談、保健相談、施設入所、里親委託家庭、未熟児、保護者の精神疾患

表16 平成27年度中に要保護児童対策地域協議会に登録されたケース数(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成27年度中に地域協議会に登録されたケースは、全国で145,290件あり、「要保護児童」が89,724件(61.8%)、「要支援児童」が48,981件(33.7%)、「特定妊婦」が6,585(4.5%)であった。  
また、要保護児童のうち「児童虐待」が57,326件(63.9%)と最も多く、次いで「養護相談」が15,407件(17.2%)であった。

<単位:件>

ケース区分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計
登録された要保護児童数	20,814	22,350	23,220	18,306	4,786	248	89,724
	66.5%	66.2%	62.4%	54.8%	52.3%	54.0%	61.8%
うち児童虐待	11,741	15,196	16,297	10,745	3,213	134	57,326
	56.4%	68.0%	70.2%	58.7%	67.1%	54.0%	63.9%
うち養護相談	2,000	4,591	4,633	3,550	607	26	15,407
	9.6%	20.5%	20.0%	19.4%	12.7%	10.5%	17.2%
うち障害相談	531	48	313	641	221	3	1,757
	2.6%	0.2%	1.3%	3.5%	4.6%	1.2%	2.0%
うち保健相談	23	24	56	256	37	3	399
	0.1%	0.1%	0.2%	1.4%	0.8%	1.2%	0.4%
うち非行	180	205	226	256	85	5	957
	0.9%	0.9%	1.0%	1.4%	1.8%	2.0%	1.1%
うち不登校・いじめ	280	113	416	626	221	23	1,679
	1.3%	0.5%	1.8%	3.4%	4.6%	9.3%	1.9%
うち生活困窮	4	213	67	349	102	15	750
	0.0%	1.0%	0.3%	1.9%	2.1%	6.0%	0.8%
不明	34	2	60	31	10	6	143
	0.2%	0.0%	0.3%	0.2%	0.2%	2.4%	0.2%
その他	6,055	1,960	1,212	1,883	300	39	11,449
	29.1%	8.8%	5.2%	10.3%	6.3%	15.7%	12.8%
登録された要支援児童数	9,046	10,239	12,224	13,467	3,820	185	48,981
	28.9%	30.3%	32.8%	40.3%	41.8%	40.3%	33.7%
登録された特定妊婦数	1,431	1,178	1,778	1,631	541	26	6,585
	4.6%	3.5%	4.8%	4.9%	5.9%	5.7%	4.5%
合 計	31,291	33,767	37,222	33,404	9,147	459	145,290

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

<その他の例>

・乳幼児健診未受診、養護相談、施設入所、居所不明、児童の発達障害、若年出産、保護者の精神疾患

表17 要保護児童対策地域協議会におけるケース進行管理台帳の作成及び見直し(平成28年4月1日現在)

地域協議会においてケース進行管理台帳を作成しているものは1,252か所(72.5%)であり、台帳の見直しについては、「3か月以内に1回」が614か所(49.0%)と最も多かった。また、台帳を作成していない理由としては、「個別ケース記録で代替」が383か所(80.6%)と最も多かった。

<単位:か所>

区 分		指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計
要保護児童対策地域協議会数		22	62	198	532	736	177	1,727
ケース進行管理台帳を作成している		21	62	189	457	440	83	1,252
		95.5%	100.0%	95.5%	85.9%	59.8%	46.9%	72.5%
見直し頻度	3か月以内に1回	14	45	124	248	159	24	614
		66.7%	72.6%	65.6%	54.3%	36.1%	28.9%	49.0%
	4～6か月以内に1回	7	14	41	121	135	19	337
		33.3%	22.6%	21.7%	26.5%	30.7%	22.9%	26.9%
	6か月以上で1回	0	3	9	40	42	13	107
		—	4.8%	4.8%	8.8%	9.5%	15.7%	8.5%
定期的な見直し無し	0	0	15	48	104	27	194	
	—	—	7.9%	10.5%	23.6%	32.5%	15.5%	
ケース進行管理台帳を作成していない		1	0	9	75	296	94	475
		4.5%	—	4.5%	14.1%	40.2%	53.1%	27.5%
理由	ケース管理すべきケースがない	0	0	0	2	38	42	82
		—	—	—	2.7%	12.8%	44.7%	17.3%
	個別ケース記録で代替	1	0	9	72	251	50	383
		100.0%	—	100.0%	96.0%	84.8%	53.2%	80.6%
その他	0	0	0	1	7	2	10	
	—	—	—	1.3%	2.4%	2.1%	2.1%	

※割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

<その他の例>

・台帳のとりまとめ業務の負担が大きく、現体制では対応できない。

表18 要保護児童対策地域協議会におけるケース進行管理会議の構成機関・参加機関(平成28年4月1日現在)

ケースの進行管理を行う会議を構成するメンバーについては、「市町村の教育委員会」が1,328か所(76.9%)最も多く、次いで「児童相談所」が1,320か所(76.4%)であった。  
また、必要に応じて会議への参加を求めている機関については「小学校」が11,060か所(61.4%)最も多く、次いで「中学校」が1,058か所(61.3%)であった。

<単位:か所>

区 分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計	割 合
要保護児童対策地域協議会数	22	62	198	532	736	177	1,727	—
ケースの進行管理を行う会議を構成するメンバー								
① 市町村の児童福祉主管課	14	48	167	447	420	65	1,161	67.2%
② 市町村の母子保健主管課	7	36	142	387	360	55	987	57.2%
③ 市町村の児童福祉・母子保健統合主管課	5	6	18	65	275	106	475	27.5%
④ 福祉事務所に設置される家庭児童相談室	15	36	112	362	132	29	686	39.7%
⑤ 保健センター	13	37	105	238	234	42	669	38.7%
⑥ 市町村の教育委員会	14	49	163	442	541	119	1,328	76.9%
⑦ 保健所	9	29	107	256	254	41	696	40.3%
⑧ 児童相談所	22	58	179	453	512	96	1,320	76.4%
⑨ 市町村の障害福祉主管課	4	16	76	217	279	55	647	37.5%
⑩ 警察署	10	23	89	269	279	64	734	42.5%
⑪ 保育所	5	15	44	174	285	90	613	35.5%
⑫ 幼稚園	4	11	31	109	168	20	343	19.9%
⑬ 小学校	5	7	33	132	301	98	576	33.4%
⑭ 中学校	5	7	31	125	296	100	564	32.7%
⑯ その他	12	31	106	208	193	24	574	33.2%
個別のケースにおいて、必要に応じて会議への参加を求めている機関								
① 市町村の児童福祉主管課	3	33	94	238	247	47	662	38.3%
② 市町村の母子保健主管課	2	32	90	241	229	43	637	36.9%
③ 市町村の児童福祉・母子保健統合主管課	1	4	20	45	153	63	286	16.6%
④ 福祉事務所に設置される家庭児童相談室	4	20	73	204	126	29	456	26.4%
⑤ 保健センター	5	30	67	164	187	30	483	28.0%
⑥ 市町村の教育委員会	7	37	101	259	379	83	866	50.1%
⑦ 保健所	3	31	88	194	231	35	582	33.7%
⑧ 児童相談所	6	36	104	269	375	75	865	50.1%
⑨ 市町村の障害福祉主管課	9	37	118	315	320	56	855	49.5%
⑩ 警察署	8	30	90	243	319	60	750	43.4%
⑪ 病院・診療所	9	47	133	317	270	56	832	48.2%
⑫ 保育所	9	41	128	318	381	77	954	55.2%
⑬ 幼保連携型認定こども園	10	36	109	214	153	13	535	31.0%
⑭ 幼稚園	8	40	123	294	262	31	758	43.9%
⑮ 小学校	10	42	133	346	440	89	1,060	61.4%
⑯ 中学校	10	42	133	350	437	86	1,058	61.3%
⑰ 民生・児童委員	9	38	105	279	413	88	932	54.0%
⑱ その他	12	35	99	193	147	20	506	29.3%

※複数回答あり

<その他の例>

構成機関:生活保護主管課、DV主管課、青少年育成主管課、障害者支援主管課、医療機関、民生児童員協議会

参加機関:ケースに応じた関係機関、児童家庭支援センター、児童館、スクールソーシャルワーカー

表19 要保護児童対策調整機関職員に対する研修の実施状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

市町村において、要保護児童対策調整機関職員に対し、「自ら研修を実施」したものは274市町村(15.9%)、「委託して研修を実施」したものは48市町村(2.8%)であった。また、「研修を実施していない」ものは、355市町村(20.6%)であった。

<単位:市町村>

区 分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計
要保護児童対策地域協議会数	22	62	198	532	736	177	1727
自ら研修を実施した	13 59.1%	37 59.7%	63 31.8%	95 17.9%	59 8.0%	7 4.0%	274 15.9%
委託して研修を実施した	6 27.3%	3 4.8%	9 4.5%	15 2.8%	10 1.4%	5 2.8%	48 2.8%
他機関が実施している研修に参加させた	14 63.6%	49 79.0%	147 74.2%	397 74.6%	449 61.0%	84 47.5%	1,140 66.0%
研修は実施していない	1 4.5%	0 -	8 4.0%	47 8.8%	218 29.6%	81 45.8%	355 20.6%

※複数回答あり

表20 要保護児童対策地域協議会の運営上の課題(平成28年4月1日現在)

要保護児童対策地域協議会の運営上の課題としては、「調整機関において専門資格を有する職員が十分に配置できていない」が1,064か所(61.6%)、「調整機関の業務量に対して職員数が不足している」が1,054か所(61.0%)、「会議運営のノウハウが十分でない」が1,020か所(59.1%)と多くなっている。

<単位:か所>

区 分	指定都市・ 児童相談所設置市	市・区 (人口30万人以上)	市・区 (人口10万人以上30万人未満)	市・区 (人口10万人未満)	町	村	合 計
要保護児童対策地域協議会数	22	62	198	532	736	177	1,727
会議運営のノウハウが十分でない	4 18.2%	24 38.7%	98 49.5%	288 54.1%	484 65.8%	122 68.9%	1,020 59.1%
調整機関において専門資格を有する職員が十分に配置できていない	11 50.0%	23 37.1%	108 54.5%	314 59.0%	502 68.2%	106 59.9%	1,064 61.6%
調整機関の業務量に対して職員数が不足している	14 63.6%	49 79.0%	148 74.7%	338 63.5%	422 57.3%	83 46.9%	1,054 61.0%
ケースの進行管理が十分できていない	5 22.7%	25 40.3%	99 50.0%	214 40.2%	300 40.8%	57 32.2%	700 40.5%
ケースの危険度や緊急度の判断(アセスメント)の方法がわからない	2 9.1%	10 16.1%	41 20.7%	171 32.1%	296 40.2%	60 33.9%	580 33.6%
構成機関に地域協議会の意義が浸透していない	12 54.5%	24 38.7%	94 47.5%	180 33.8%	200 27.2%	39 22.0%	549 31.8%
構成機関との情報交換・情報共有が十分できていない	8 36.4%	17 27.4%	72 36.4%	121 22.7%	169 23.0%	37 20.9%	424 24.6%
地域協議会運営のための予算が足りない	0 -	10 16.1%	36 18.2%	54 10.2%	73 9.9%	9 5.1%	182 10.5%
構成機関職員への研修機会が十分ではない	10 45.5%	30 48.4%	112 56.6%	283 53.2%	378 51.4%	87 49.2%	900 52.1%
その他	1 4.5%	6 9.7%	14 7.1%	25 4.7%	23 3.1%	4 2.3%	73 4.2%

※複数回答あり

<その他の例>

- ・人員不足により、専門職への負担が大きい
- ・会議を開催するための負担が大きい

- ・終結の基準が定まっていない
- ・医療情報を提供してもらえない

- ・児童相談所と危険度や緊急度の判断が異なる
- ・特定妊婦や不登校の進行管理が不十分

- ・ケース増加による進行管理への支障が危惧される
- ・業務引き継ぎが難しい